Fresh communication in NEW TOWN

フラミンゴ

第40号（隔月発行）

1994年7月1日
発行　荏田南小学校区地域連絡会
フラミンゴ編集室
室　長　山田美千子
TEL　045－941－7454
編集長　山下泰一郎
〒225 横浜市緑区荏田南1-12-26

荏田南連合自治会の発足にともない『フラミンゴ』が変わります

昭和62年の6月に創刊準備号を出して以来、足掛け7年間にわたり、自治会・町内会の手を煩わせて、皆様にお配りしてきました「フラミンゴ」が、この4月から発足した荏田南連合自治会の広報紙として、新しくスタートすることになりました。

11月6日には分区も予定されており、配布地域も変更させていただくつもりです。青葉区になる荏田町（新荏田・荏田西を含む）の皆様には、永い間ご愛読いただきありがとうございました。これからも行政区は違っても、隣町として取材などでお世話になると思います。どうぞよろしくお願い致します。

ニュータウンという新しい町ができていく中で、道路や建物、鉄道などのハード面は、市や公団の手で作られるでしょうが、文化的なソフト面は住む人の手で創っていくしかありません。そのためにも、人と人のコミュニケーションを大切にしたいと「フラミンゴ」を作り続けてきました。内容面では、決して満足いただけなかったかもしれませんが、いろいろと励ましの声もかけていただきました。今後はスタッフも代わるため、当面は2カ月おき（年4回）に発行いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

ペットPETぺっと

あなたも、かわいいペットの写真をお送りください。

★のら代表・自由猫「チビ」

人間が捨てたその瞬間から「のら」と名のつく犬や猫。天国から地獄におちたこの子たちの末路は、交通事故か野垂れ死に。新しい家族を見つけられる運のいい子は、ほんのほんの一握りでしかないことを、私たちはなんとなく知っている。ペットはオモチャじゃない。ペットはアクセサリーじゃない。突然ひとりぼっちになった哀れな子は、自分の居場所を求め、一日一日を懸命に生きている。

＊　＊　＊

腹ごしらえを終えたチビは、今日も道行く人に愛想をし、頭をなでられ、陽だまりの中で大きく伸びをひとつ。皆から愛され、皆を愛し、子どもたちと遊んだ夢を見ながらウニャウニャお昼寝。カミサマアリガトウ。

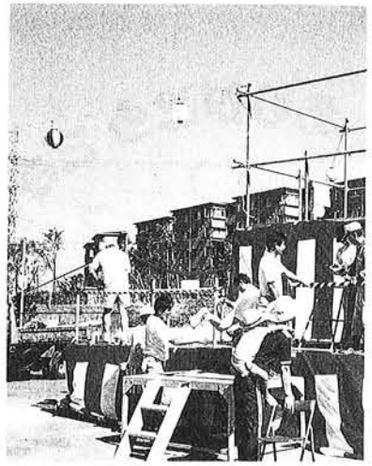
港北ニュータウンとフラミンゴの10年

新しい街「港北ニュータウン」で、最初に供用開始となったのが荏田南地区でした。先行造成された荏田南三丁目に続き、かしの木台・しいの木台を含む荏田南一丁目と二丁目、大丸の一部で入居が始まったのは昭和58年の8月。

現在の元石川線の道路は、片側だけしか出来てなく、1車線ずつの対面通行でした。新横浜―江田のバスも、昼間は一時間に2～3本という不便さ。鴨池公園や緑道もまだ整備されていませんでした。そんな状態ですから、かしの木台、しいの木台、さらに続けて入居が始まったけやきが丘も、なかなか買い手がつかず、空きが目立っていました。

2年後の昭和60年の夏に、小規模ながら夏祭りが行われ、以後毎年「創ろう港北ニュータウンにふるさと文化を」をスローガンに、荏田南夏祭りが開催されています。また、この町には、造成前から住んでいた人たちと、よそから移ってきた人たちが混在し、日毎に町が作られ、居住エリアが拡がって住民が増え続けています。自分たちの住む新しい町に対して、誰もが期待や夢を持っていました。どういう町にしたいか、というのは人それぞれにイメージが違うでしょうが、住む人のコミュニケーションを大切にしたい、との想いから生み出されたのが「フラミンゴ」なのです。大きな目的は「地域住民のコミュニケーション」ですが、具体的には〝こんなことやってるよ〟〝こんなところがあるよ〟〝こんなことやりませんか〟〝こんなふうにしたいな〟といった内容です。既成のメディアから情報を受け取るだけでなく、住民の側からの情報を発信する手段でもありました。

発行の母体となったのは、荏田南小学校区地域連絡会という自治会・PTAの連絡組織。個人やグループのタウンペーパーでも商店会などの情報紙、新聞社系の地域紙でもありません。フラミンゴのタイトルの上に、*Fresh communication in newtown*とある通り、住民紙とでもいえばいいでしょうか。配布は荏田南を中心に、ニュータウン周辺の自治会・町内会を通じてお配りしています。



今年11月に予定されている分区を前に、4月から荏田南小学校区地域連絡会は連合自治会として新たなスタートを切りました。任意団体から公認団体になったと言えるでしょう。

そこで、このフラミンゴも荏田南連合自治会の広報紙として、新しいスタッフで編集されることになりました。新第1号は、7月に発行を予定しています。これまで以上のご理解とご支援をお願い致します。

〈言い出しっぺの記〉「愛してくださいフラミンゴ」

編集室長　山田美千子

創刊準備号のこの呼びかけに、すぐ反応してくれたのは、何と若い男性の息も荒い怪しげな電話でした。これから先が思いやられ、暗い気持ちになったのを思い出します。

以下、これまでの経緯を、講談調（？）で、調子よく述べます。

皆様も、退屈しのぎに、お腹の底から声を出し、抑揚をつけてごいっしょに。ハイ！

時は昭和の62年（バン！＝机をたたく音です＝）

荏田南小学校区地域連絡会なる長い名前の会ができまして（バン！）

チャンとチャンと読んでもらえる会報を（バン！）

作ることにと相なった（バン！）

荏田町の（バン！）

高野企画印刷の（バン！）

絶大なる協力を受け（バン！）

準備号から始まった（バン！）

フラミンゴなる名称は（バン！）

南小中の校舎色（バン！）

フラミンゴピンクからとりました（バン！）

新しい（バン！）

街の動きを感じたのか（バン！）

新聞数紙の取材を受け（バン！）

何とまあ、NHKニュースにもなりました（バン　バン！）

編集スタッフもハッスルし

無償のボランティア活動を

ずっと続けてきたのです

ホントにホントにご苦労さん（バンバン！）

真面目に書けと、お叱りを受けそうなので……。

と、まあ、以上のごとく、気楽に、気負わず、ほめられもせず、けなされもせず、発行責任者として、ただただ続けることに専念し、荏田南小学校区地域連絡会の会報誌としては、これが最後になりました。

次号からは、荏田南連合自治会の広報誌として、各自治会から選ばれた委員の方々によって編集されます。

私と、山下編集長は、荏田南連合自治会長、河鰭（かわはた）氏のお声がかりで、再び編集作業のお手伝いをすることになりました。

立派で素敵な会長を応援するためにも、心機一転、頑張るつもりです。

今まで暖かく、力強く支援くださった広告主の皆様、原稿依頼や取材に快くご協力いただいた地域の皆様に、心よりお礼申し上げますとともに、新しいスタッフによる「新フラミンゴ」にも変わらぬご支援をお願いします。そして、楽しいフラミンゴスタッフの皆様、お世話になりました。

ミラノの感性。オフィスを制する円熟のブランド。
FIRST CLASS
ANTONIO FUSCO®
ITALY
紳士服アオキは、時代が求める本物のファッションをリーズナブルな価格でご提供致します。
東証一部上場企業
紳士服
アオキ
MEN'S PLAZA
株式会社アオキインターナショナル
横浜港北店
横浜市緑区葛ヶ谷6-56
☎045(941)9888㈹

PMS 開講のお知らせ
（ヤマハ・ポピュラー・ミュージック・スクール）
ボーカル科・Eギター科・Eベース科
ドラム科　入会金￥5,150　月謝￥7,725
※レディースバンド・コース，個人レッスンもあり
ヤマハ音楽院横浜　無料チャレンジレッスン実施
横浜アリーナ1F　TEL 045(474)4111

ビデオ・レンタル
料金

	当日	一泊	延滞金
新作	430	480	300
一般	330	380	
	4本以上は2泊3日		

年会費300円
（但し、現存の会員の方は*1.3.7.10まで無料となります）
アニメ（新作を除く）一週間レンタル
あなたの街の
わくわくらんど
10:00～深夜1:00（年中無休）☎942-0382

スタッフより一言

ありがとうございました

▲創刊準備号から５年間ほど、ホントによく面倒をみていただいた高野企画印刷の社長さんと社員（当時）のみなさん。

会社で120％ガンバッテ、家に帰って寝るだけという生活が変わったのは、フラミンゴのせいかも知れない。忙しい……、でも楽しい、この町は。（編集長　山下泰一郎）

スタッフが全員個性派で、言いたいことを言ってましたね。私は、原稿はちっとも上手くならなかったけど、体力だけはつきました。（「この町の○○」他担当　山田美千子）

大晦日の夜に各戸に配布したことなど、今は楽しい思い出になりました。（仕分け・配布担当　岡村みどり）

ニュータウンの花で、この町の愛らしい自然を伝えられて幸せでした。（「路草の詩」のイラスト他担当　遠藤道子）

雑草をこよなく愛する　こんな私にニュータウンが好き！　こんなに語りかけてくれた花達よ　ありがとう。消えないで咲き続けて……。（「路草の詩」の生け花担当　尾身さよ子）

……？？？（言うことなし！）（「わくわく探訪記」イラスト担当　高橋美江）

いろんな人に会って、たくさん話をして、楽しかったなぁ。（「わくわく探訪記」の文章担当　相田百合子）

創刊当初から「NTネットワーク」欄を担当。インタビューを通して、NTに住む実に多くの魅力的な人たちとお会いできて、楽しかったです。機会があれば、再インタビューシリーズをやってみたいものです。（6月19日からタイに転勤になった住都公団　越智武雄）

山田室長が半年間日本を離れている間、責任感でみんなの団結力はすごいものでした。思い出をいっぱいありがとう。（仕訳け配布担当　柴田吉子）

広告代の集金、こんな楽なことはありませんでした。伺うとすぐにいただけますし、また発行が遅れても文句も言われなかった！　どうもありがとうございました。（会計担当　笠松しげ）

動物を愛し、人を愛し、緑を愛する心が、ニュータウンにあふれますように。（ペットPET担当　三浦万里子）

人生の楽しさが、いっぱい詰まっている街・ニュータウン。また遊ばせていただきます。（神戸への転勤から戻った　岡本みどり）

いつも街の楽しさを教えてくれるニュータウン。もっと多くの人に楽しんでもらえたら。（元横浜市港北NT開発局　石田勝行）

ニュータウンを低空飛行して眺めたような面白さ。ときどき悪酔いもしたけど……。（「あんなこと・こんなこと」他担当　江幡千代子）

『フラミンゴ』は永遠に

港北ニュータウンの創生期に、『フラミンゴ』とその関係者が果した役割は、はかり知れないものがあります。NTに命を吹き込んだのが『フラミンゴ』でした。NTが第二時代を迎える今日、地域紙としての当初の役割を終えても、なお『フラミンゴ』は人々の心の中を飛び続けていると確信しています。（荏田南小学校区地域連絡会　初代事務局長　佐藤寛）

がん検診・老人検診 指定医療機
漢方・ハリ
＝胃腸科・循環器科＝
弘中内科小児科医院
〈診療時間〉
平日 午前9~12時 午後3~6時
土曜 午前9~12時 午後1時半~3時
日曜 午前9~12時 木曜祝日休診
港北ニュータウン近隣センター内
☎941-6556

在なお
天ぷら
活魚
釜めし
☆水曜定休日☆
営業時間
平日：午前11時30分～午後2時
午後5時～午後9時
日祭日：午後5時～
☎(941)6263

心よりご来場をお待ちしております。
日産プリンス神奈川販売株式会社
港北ニュータウン営業所
☎(045)941-1123代
〒225 横浜市緑区荏田南2-10-25
NISSAN スカイライン バルサー
あなたの街の日産です！
シーマ　グロリア　スカイライン　プリメーラ　アベニール　バルサー　フェアレディZ
…トナ　180SX　マーチ　ホーミー　パネトーラルゴ・セレナ　プレーリー　サファリ
アトラス　ADバン・ワゴン

滋養強壮・肉体疲労
キョーレオピン
虚弱体質・体力低下
レオピンファイブ
疲労に負けない，
病気に負けない，
基礎体力をつくろう！
電話注文・発送承ります。
八夕薬局　☎911-3568
港北区中川町1452（江田～綱島線・矢崎不動バス停前）

《Essey》

トンボの帰る日

見花山在住　渡邊　茂

光陰矢の如し、全く月日のたつのは早いもので、気がついてみたら来年は古希を迎える歳になってしまった。平均寿命の延びた今では、古希でもないが、それでも人生の終着駅に近づいてきたせいか、忘れていた過去の出来事をふと思い出しては、様々の感慨に耽ることが多くなってきた。そんな昨今ではあるが、そんな折、前号のトンボ王国の記事を読んだ時と、その後の工事の進捗状況を見るにつけても昭和初期にタイムスリップしたように、幼い日の事が鮮明に思い出されてくるのである。

当時は市の中心部伊勢佐木町の繁華街にもトンボがいたのである。最も多いのがシオカラトンボ、中に混じって王様の貫録十分の銀ヤンマ、そして秋風の吹く頃には、赤トンボの大群が押し寄せてくるのである。これは夢物語ではなくて、周辺の中村町、南太田等にはトンボの育つ自然の沼がいくつもあったからなのである。その沼へオタマジャクシや源五郎を採りにいって、ヤゴが網にかかる事があっても、トンボの子は逃がしてやれよと、子供どうしの協定があった。

大正14年にラジオ放送が始まって、まだ何年もたってない頃で、ラジオはあまり普及してなく、またサイレンもなかったので、正午には野毛山で大砲を撃ったのである。（空砲）青空高く吹き上がるその白煙と、低空を舞うトンボの群。こんな古き良き時代の街頭風景の一齣が、今でもはっきりと脳裏に浮かんでくるのである。

戸外でよく遊んだ子供たちは、寒い頃には雪合戦や凧上げ。それが、初夏になればトンボ採りに変身するのである。手に手にもちざおと虫かごを持って、トンボを追いかける姿は、同じ季節の横浜独特のホンチ遊びと共に、各所で見られたものであるが、特に今の地下鉄坂東橋駅付近には、広い空き地もあって、トンボ採りのメッカであった。

ガキ大将であった私も、子供の集団の先頭に立ってトンボを追いかけ、暗くなってから泥だらけになって家に帰ると、勉強もしないでどこへ行ってたと、母より一喝されたものである。が、その母も横浜大空襲には焼夷弾の直撃を受けて45歳でこの世を去ってしまったし、腕白仲間もほとんどが戦死してしまった。中には特攻隊員もいる。出撃にあたって胸中去来したものは、トンボ飛ぶ故郷の空であったかも知れない。

そこで、戦後の横浜の復興と今日の繁栄を見ることなく帰らぬ人となった多くの戦争犠牲者の霊に対して「トンボが帰ってきたよ」と言える日が一日も早い事を、切に願うものである。勿論むかしのようなトンボ採りはしないで、みんなで見守り大事に育てたい。

〈編集室注〉筆者は、元横浜市民吹奏楽団理事。戦後の混乱期に多くの悪条件を克服して楽団結成にあたり、長年アマチュアとしての音楽活動を続ける。還暦を過ぎて管楽器演奏も苦しくなり引退。現在は……。まちの音楽会の〝サウンド　オブ　ミュージック〟にも出演。

《寄稿特集》

振り返れば10年

鴨池公園も歳月による変化が

オーバーユーズによる芝生の消失と裸地も目立つが、自然の移り変わりも顕著なものがある。

イヌノフグリ、オドリコソウは、帰化植物のオオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウにとって変わり、秋を謳歌してきたセイタカアワダチソウは、現在ススキにその座を譲っている。これら、植物相の変化は興味深く見ることもできるが、心ない人の盗掘による希少植物の消失は、残念としか言いようがない。今後、公園利用者はますます増えることであろうが、自然緑地を守り、より多くの生き物と共生できる公園作りをめざしていきたい。（鴨池公園愛護会会長・市川順而）

荏田南地区夏祭りの想い出

早いもので、10回目の夏祭りを迎えるという。第一のふるさとを求め、やってきたここ港北ニュータウン。知らない者同志が、垣根を乗り越えて、協力して一つのイベントをやろうということで始まった夏祭り。模擬店、おみこし、盆踊りをベースに全てを手作りというスタイル。何といっても忘れられないのが、締めくくりに行ったたった15発の花火。こんな夏祭りが、荏田南地区の一つの文化を創りあげてきたと思う。これからも重荷にならず続けていって欲しいと思う。（第一回荏田南夏祭り実行委員長　川本存彦）

思い出の路線バス陳情団

83年ニュータウンに移民し間もない頃、路線バス対策協議会という会をつくって、当時約一八〇〇戸のアンケート調査をまとめ、市交通局に陳情しました。陳情団のなかに神戸出身の、昔のお嬢様がおりまして、神戸市と横浜市を比較して『何てここは未開の土地でしょう』といった調子で苦情を言いましたところ、相手はこれに激しく反応『そんなことはありません。我が横浜市では……』と。

私はピンときました。横浜は東京と比較するのではなく、港町神戸と比較するのが作戦上ベストであると。今後の活動の参考までに。（現在、実家の練馬区在住　中田　博）

牛谷公園ができるまで

春には、お隣の出光フラウンドの見事な桜を借景に、宴席となったり、夏には、市ケ尾の花火を寝ころんで見られる場所ともなったりと、スポーツ以外にも親しまれている牛谷公園も、最初は、なかなか整備が進まず、現在からは考えられないほどの、各集合住宅の入居の悪さから、公園予定地としての見直しの対象にもなりました。

地域連絡会としては、公園の存続と、整備を早めてもらおうと、運動公園運営協議会を発足させ、事務局長をメゾン桜ケ丘の上杉さん（転居された）にお願いしたのは、昭和62年のことでした。

私も委員の一人として、当時、地域連絡会の顧問だった荏田南五丁目の青木公雄氏のご助力を受けながら、市・公団と話し合いました。

アピールの一つとして、荏田南中学校と住民有志で、公園の石拾いをし、新聞に載ったのを、なつかしく思い出します。

これからも、利用者として、草刈りなど、積極的に参加するつもりです。（笠松睦旦（かしの木台ハイツ）

NEWTOWN HOME'S 2・4
HOUZE
株式会社 ハウセ
そろそろリフォームをお考えの方
リフォームのご相談お気軽に
ハウゼのプランナーがご相談に応じます。
■戸建 ■テラスハウス ■事業用ビルetc
〒223 横浜市港北区牛久保西2-1-30　グループ会社
TEL. 045-912-1000(代)
TEL. 045-912-1800(建設部/設計部)　神奈川中央住宅株式会社

■土地 ■戸建 ■マンション
ご購入・ご売却
お気軽にご相談ください。
PHONE 045(941)1000
神奈川中央住宅株式会社
不動産情報センター
〔水曜定休〕　〒225 横浜市緑区荏田南2-10-16

理容スタッフ募集
美容室 －男女－
MY HAIR LADY
技術者　インターン　見習い
10月新店舗OPENスタッフ
本店業務スタッフ
若干名　パート可
独立希望者には、全面バックアップします
じぶんの力で人生切り拓いてみませんか？
転職者歓迎・責任持って初歩から教えます
☎227　緑区霧ケ丘1-42-8
企画室ゴン　☎(992)5126
9：00～19：00
火曜定休
横浜市緑区荏田南3-2-13
☎045-942-2266

村田耳鼻咽喉科
荏田東4丁目6番地14号　☎941－4133
診療時間　平日 9:00－12:00・2:30－6:30
土曜 9:00－1:30
〈休診日〉
木曜・日曜
祝日
医師
村田憲彦

連絡会だより

荏田南連合自治会の設立は、3月13日の設立総会で正式に決定され、4月1日に発足。総会には行政サービスセンターからもお祝いにかけつけていただき、新しい連合自治会への期待などを表明されました。この日まで足掛け10年間、荏田南小学校区地域連絡会という、ゆるやかな組織で荏田南地域の各自治会はまとまってきました。最初は、かしの木台ハイツとしいの木台ハイツ、そして荏田南三丁目、荏田南二丁目、荏田南一丁目、大丸、つづきが丘住宅、2年近く経ってメゾン桜ケ丘が加わり、さらにエステスクウェア、ベルデレナールと増えて、11自治会を数えるまでになりました。

連絡会結成前から続いてきた夏祭りを中心に、ソフトボール大会や講演会、音楽会などの後援など活発に活動。新しい町だったために、すべての行事などを一からスタートしなければなりませんでした。しかし、逆に住民の求めていることをやる、という自由さもありました。こうした積極性は、この町の大きな特徴といえるでしょう。

港北ニュータウンに〝いた人〟も〝来た人〟も、豊かな緑と自然のあるこの町を誇りに思う気持ちに変わりはないはず。分区によって都筑区が誕生し、荏田南小学校区地域連絡会は荏田南連合自治会として、新たなスタートを切りました。連合自治会を設立する間際まで、荏田南連合にするか川和連合にするか迷いがあったつづきが丘住宅、エステスクウェア、ベルデレナールの3自治会は、小学校の学区が4月から開校した川和東小学校となることもあり、川和連合自治会に加わることになりました。また、これまで荏田連合自治会に加盟していた荏田南二丁目自治会と荏田南三丁目第二町内会は、荏田南連合自治会発足に伴い、荏田連合を抜けることになりました。

これまでの人と人との出会いを大切にし、これからも隣人として手を携え、この町をさらにイイ町にしていきましょう！

荏田南小学校区地域連絡会最終決算報告

収入の部		支出の部	
項　目	金額	項　目	金額
会費（1戸×月20円）		事務局運営費	197,770
かしの木台ハイツ（266戸）	63,840	交通対策委員会	0
しいの木台ハイツ（311戸）	74,640	広報費（フラミンゴ）	240,000
荏田南一丁目（130戸）	31,200	文化事業費	100,000
〃　二丁目（325戸）	78,000	体育事業費	63,522
メゾン桜が丘第一（289戸）	69,360	保健事業費	31,700
〃　第二（90戸）	21,600	分担金返済	43,000
大　丸（65戸）	37,680		
つづきが丘（120戸）	28,800		
エステスクウェア（198戸）	47,520		
ベルデレナール・セゾン（50戸）	12,000		
小計（1844戸）	464,640		
利息	598		
前年度繰越金	311,799		
合計	777,037	小計	675,992

荏田南名物荏田南地区夏祭りのお知らせ
都筑区誕生記念＆荏田南連合自治会発足記念として
8月20日と21日に行います。
会場は荏田南小学校です。
今年もみんなでつくって、みんなでたのしみましょう！

あんなこと　こんなこと

◆「谷戸とは？」いつかお電話で質問された方に　広辞苑によれば「谷」と書いて、関東地方では「やつ」とか「やち」「やと」と読んだようで、特に鎌倉あたりに地名として「○○谷」などが残っています。語元はアイヌ語らしく、低湿地を意味し、北海道では「谷」または「谷地」が、泥炭地の俗称にもなっています。ちなみに、「谷地田」という言葉もあり、台地にはさまれた細長い谷にある水田のことだそうです。こうしたことから、谷間の集落や田など全体を「やと」と呼ぶようになったのではないかと思います。港北NT内は、造成のためにほとんどの谷が無くなりましたが、渋沢や池辺・都田など周辺地域には、今も多くの谷が残されており、落ちついた雰囲気は、なかなかいいものです。

◆鴨池公園こどもログハウスが完成　前号でお知らせしたこどもログハウスがこのほど完成。7月16日にオープンの式典が行われました。丸太を使った本格的なもので、夏休みの絶好の遊び場になるでしょう。